

## はじめに

当館の使命は、郷土埼玉に関する歴史的・文化的に価値ある行政文書、古文書、地図などの記録資料を収集整理し、県民共有の財産として大切に保存するとともに、その活用により教育・学術及び文化の発展に寄与することにあります。そのため、当館ではこれら収集・整理・保存・活用に関わる様々な事業を行っており、その活動を通して得られた新たな知見をはじめとする職員の調査研究の成果を紀要にまとめ、これまで公開してまいりました。

第三十九号となる本号は、前号からの継続した研究成果となる、岩田系図諸本の比較分析(二)及び正保武蔵国絵図の基礎的考察(二)のほか、令和六年度から七年度にかけて当館で開催した二つの企画展の実施報告、国学者井上喜文の研究手法の考察、当館の立地と利用者層の相関性を他機関との比較により論じた報告の六本を収録しました。いずれも文書館職員として求められる専門性に基づいた研究成果といえます。本誌が広く県民の皆様に利用され、県民文化の向上の一助となれば幸いです。

今後も当館の調査研究活動を充実させ、その成果を引き続き皆様にお届けしたいと考えております。一層の御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年三月

埼玉県立文書館長 高津 導